

有限会社成澤鉄工所

事業計画名

建築鉄骨加工における生産プロセス高度化と
短納期・コスト圧縮による新規受注の実現

外注部門の内製化により前工程リードタイム半減と外注コスト削減
受注拡大を目指し、東京オリンピック後も見据えた計画的な営業戦略



CADデータとの連携が可能なNCドリルマシンおよびバンドソーを導入。転記ミス等のヒューマンエラーも極小化された。

事業の背景・目的

鉄骨製作においては、前工程として切断、穴あけ作業から始める。当社の既存の設備では、前工程の段階で時間を要してしまい、その次の段階である組立、溶接作業に進むまでに時間がかかっていた。また、外注で対

応していた部分もかなりあり、外注費に加え、大型トラックでの搬送費用も加算されていた。そのため、最初の一次加工段階の効率化とコスト削減のために内製化を図りたいと今回の導入に至った。

企業データ

- ・鉄骨製作・鉄骨工事・鉄骨建築物設計
- ・鉄骨建築物施工・除塵機
- ・機械加工組立一式
- ・金物加工工事一式



代表取締役 成澤 克志

代表者 成澤 克志
住 所 鶴岡市柳久瀬字大坪16
電 話 0235-64-3714
FAX 0235-64-4414
e-mail n-tekk@aroma.ocn.ne.jp
URL <http://www.narisawa-tk.jp>
設立年 平成元年11月
資本金 400万円
従業員 24名

事業内容

鉄骨の加工・製造の前工程において、外注の依存率が高く、ネックとなっていた前工程である切断と穴あけ処理。生産の内製化を目的として、CADデータと連携が可能なNCドリルマシンおよびバンドソーを導入して、両設備の生産ラインの構築を図った。



切断、穴あけ処理のスピードが大幅にアップされた。

事業の成果

新規設備導入以前の課題であった、前工程作業が外注先の繁忙期、閑散期によって受け入れ状況に左右されることなく、加工工程が確立された。さらに、導入した設備によって加工のスピードが格段にあがったことで前工程リードタイムが半減し、次の段階へ効率よく移行、短納期化とコスト削減が実現した。

また、CADとNCデータ変換ソフトの導入により、転

記ミス等のヒューマンエラーが極小化し、手作業ネック工程のそれぞれの改善が図られ、品質が向上した。

ただ、今回導入した機械での加工は全体の10%程度であり、その後の工程の効率アップのための機械化、製品を置く場所の確保が今後の課題になっている。

今後の展望

当社の事業では、作業工場の約2倍程度の製造品を置く製品ヤードスペースが必要とされている。現在は倍程度しか確保できておらず、新しい工場を建設するために計画的に受注拡大を行っていく。

ただ、東京オリンピック後の需要が懸念材料であるた

め、オリンピック開催前の今、窓口を広げて、新規受注先を増やしているところである。特に地元庄内からの仕事は確実にして、今後も信頼と信用でつなげていく。

また、今後も溶接ロボットを増やす等、次の加工段階においても更に自動化を進めていくことを目指している。